

東北アジア 研究談話会

vol.

126



東北アジア研究センターでは、スタッフ同士の研究交流と相互理解を深めるため、毎月研究報告会(東北アジア研究談話会)を開催しています。今月は下記の日程・内容で行います。センター外の方でも、興味があるようでしたら是非ご参加ください。

2026年 3月 23日 月

日時

13:00～13:30

【会場】東北アジア研究センター4階大会議室

(川内合同研究棟436号室)

※会場のみでの開催です。オンライン同時配信は行いません。

報告

● 使用言語：日本語

共同体のストレス反応—官僚制・対立・管理集中

‘Stress Responses in Communities: Bureaucracy, Conflict, and Administrative Centralization’

ルールや監視は共同体の秩序を守る一方、過度に増えて“レッドテープ”化すると、共同体の活動に悪影響を及ぼす可能性がある。ここではまず数理解析により、ストレス(対立・紛争)時の共同体の反応、特に中央集権化、議論(会議)、生産性の変化を調べ、元々の監視・管理レベルがそれらの反応に及ぼす影響を予測する。次にこれらの予測を“モデル共同体”—ウィキメディアのデータをを用いて検証し、適切なガバナンスの方策について考察する。

Rules and monitoring can help maintain order in a community, but when they expand beyond what is necessary and become “red tape,” they may adversely affect the community’s activities. This study first uses mathematical analysis to generate predictions about changes in centralization, discussion (or meetings), and productivity under conditions of stress (such as conflict or disputes), as well as about the effects of preexisting levels of monitoring and management. It then tests these predictions using Wikimedia data as a “model community” and considers strategies for appropriate governance.

報告者

千葉 聡

Professor CHIBA Satoshi

(地域生態系研究分野)



<<< Read more

出版物



千葉聡『「科学的に正しい」の罠』(SB新書 708) SBクリエイティブ、2025年10月

ISBN 978-4-8156-3337-0

千葉聡『進化という迷宮 隠れた「調律者」を追え』講談社、2025年5月

ISBN 978-4-0653-9134-1

千葉聡『ダーウィンの呪い』講談社、2023年11月

ISBN 978-4-06-533691-5

千葉聡『招かれた天敵 生物多様性が生んだ夢と罠』みすず書房、2023年3月

ISBN 978-4-622-09596-5

鹿野秀一、平野直人、千葉聡[編]

シリーズ【東北アジアの社会と環境】「大陸と日本をつなぐ自然史: 地質・生態系の総合研究最前線」古今書院、2021年1月

千葉聡『進化のからくり 現代のダーウィンたちの物語』講談社、2020年2月

ISBN 978-4-06-518721-0

千葉聡『歌うカタツムリ—進化とらせんの物語』(岩波科学ライブラリー) 岩波書店、2017年6月(第71回 毎日出版文化賞(自然科学部門)受賞)

ISBN 978-4-0002-9662-5



問い合わせ先

東北アジア研究センター研究推進委員会

石井 敦 atsushi.ishii.b7@tohoku.ac.jp

デレニー・アリン alyne.delaney@tohoku.ac.jp



CNEAS
Center for Northeast Asian Studies